

“変革”の新たな年を迎えて



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年の国内経済は、全体的には緩やかな回復基調が続き、雇用・所得環境の改善がみられました。各種政策の効果もあり今後も緩やかな回復に向かうことが期待されております。しかしながら、トランプ次期米国大統領の掲げる保護主義的な貿易政策やイギリスのEUからの離脱等海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等があり、経済情勢の不透明感は増しております。このようななか中小企業の皆様は様々な課題を抱えながらも日々事業に取り組んでおられることと存じます。

一方、当財団におきましては、平成30年4月に明石市が中核市に移行することに伴い、産業交流センターは1F展示場を除き、保健所に転用されることとなりました。そのための改修工事期間中はセンターをご利用いただくことができません。また、当財団事務局は一旦仮事務所（明石商工会議所内）へ移転することとなります。ついては、これまでセンターにおいて実施してきた各種支援事業については、現在、全体的な見直しを進めているところです。（スケジュール等を含めて詳細は次号でお知らせいたします。）

当財団にとりましても変革期となりますが、今後も支援事業に取り組み、地域産業の発展に尽力してまいりますので、引き続き当財団の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、平成29年が皆様にとって飛躍の年となることを祈念申し上げます。

一般財団法人 明石市産業振興財団

明石の元気を創りだす「起業応援セミナー」1月21日(土)開催



平成27年度開催風景

日時：平成29年1月21日(土) 13:30~17:00

場所：明石市立産業交流センター2F 多目的ホール

内容：講演『「起業成功のイロハ」～飲食業に学ぶビジネス成功の基本ルール～』

宇井 義行氏 フードビジネスコンサルタント

一般社団法人日本フードアドバイザー協会 創始者・代表理事

講演『わたしの起業 ～リアルな起業、お伝えします～』

〈コーディネーター〉川根 洋範氏 パソコン教室 趣味工房めいきょう 代表
 事業主を盛り上げる会主宰
 兵庫マスター倶楽部副代表

〈体験談1〉辻 博志氏 花川製麺所 代表
 (関西うどんの通販・持ち帰り専門店)

〈体験談2〉堀 仁美氏 野菜食堂めぐみカフェ 代表(カフェ)

講演『「起業(ゆめ)のために準備しておくこと」～資金調達のポイント～』

青木 伸也氏 日本政策金融公庫 国民生活事業
 神戸創業支援センター 所長

起業家体験談、起業家紹介・支援機関相談コーナー etc.
 (詳細は財団ホームページをご覧ください)



「ものづくり支援セミナー in 明石」1月25日（水）開催

例年好評を博している“ものづくり支援セミナーin明石”を平成29年1月25日（水）に開催します。今回は第2部として全業種の企業・産業支援機関の皆様と交流していただける「企業交流会」も開催します。新しい「つながり」を作る場としてぜひご参加ください。（詳細は財団ホームページをご覧ください）

第1部

<技術講演> 15:00～16:10

- ①「木質構造建物の耐震技術分野における現状と今後の展望について」

明石工業高等専門学校 建築学科 准教授 荘所 直哉 氏

- ②「魚皮由来コラーゲン繊維の製造法とその利用について」

兵庫県立工業技術センター 皮革工業技術支援センター 技術課長 原田 修 氏

<基調講演> 16:25～17:35



「大ヒットの秘密を明かす～中小企業のための売り伸ばし術～」

講師：株式会社エンジニア 代表取締役社長 高崎 充弘 氏

画期的な商品が、必ず売れるわけではありません。どれほどすぐれた機能も、お客様に正しく伝わり、理解されなければ意味がありません。また、たとえ一時的に売れたとしても、さらに売り上げを伸ばして大ヒットへ発展させるには、特別な「何か」が必要です。

今回、高崎氏が自らの経験を踏まえた実感的な「ヒットのコツ」を披露します。そのほか、試行錯誤を繰り返していた頃の失敗談やユニークなアイデアを生む独自の発想法、そして知的財産の活用術まで、中小企業経営者ならではの視点でお話していただきます。

【同時開催】技術シーズ・県内産業支援機関の活動紹介のポスター展示 14:00～17:35

第2部

<企業交流会> 17:45～18:45

全業種の企業・産業支援機関のさまざまな人が参加予定です。販路開拓・事業連携等の可能性を拓けるチャンスです。皆様のご参加をお待ちしております。



日時 平成29年1月25日（水）15:00～18:45（企業交流会17:45～・受付及びポスター展示14:00～）
場所 明石市立産業交流センター（明石市大久保町ゆりのき通1-4-7）
参加費 無料（企業交流会1,000円） 定員200名（先着順）

「第17回 親子で楽しむロボット教室 高専ロボットジャンボリー」1月28日（土）開催



全国大会 出場！

NHK高専ロボコン2016に出場したロボットをはじめ さまざまなロボットが大集合

NHK高専ロボコン2016に出場した明石高専と神戸高専の学生が作ったロボットのパフォーマンスを披露します。

ロボット体験コーナー

高専のロボットやレゴロボットなど各種のロボットの操作を体験できます。

【開催日】平成29年1月28日（土）13:00～16:00
【場所】明石市立産業交流センター1F展示場
【主催】国立明石工業高等専門学校、明石市産業振興財団
【共催】神戸市立工業高等専門学校
【問合せ先】明石高専 教育・研究プロジェクト支援室（TEL 078-946-6148）

参加無料
当日参加歓迎

これからの講座・セミナーなどの開催予定

セミナー名等	テーマ（内容）	実施予定日
明石夕学サテライト後期 東京・慶應丸の内シティキャンパスの定例講演会をライブ中継	志賀 俊之 「日産：変革を支えるレジリエントオーガニゼーション」	1月12日（木）
	清水 聡 「新たな顧客マネジメント～循環型マーケティングの提案～」	1月17日（火）
	田口 佳史「人生は噛みしめるように生きる」	1月24日（火）

※詳細は、HP (<http://www.aicc.or.jp/>) 等で順次お知らせします。

申込・お問合せは財団事務局へ TEL078-936-7917 FAX078-936-7916 E-mail:info@aicc.or.jp

中小企業の会計に関する基本要領（以下、中小会計要領）
「会計が分かれば、ビジネスが見える」「会計で会社を強くする」

●中小企業のための中小会計要領

経営計画は企業経営の羅針盤です。経営者は、毎期経営計画を策定し、予実（予算実績）管理でビジネスを見る化し企業を発展させます。経営計画策定には、公的な会計基準に拠っている必要があります。その一つが、中小企業のための中小会計要領です。

中小会計要領は、中小企業の実態に即して2012年2月に公表された会計ルールです。税法規定を意識した会計処理となっています。金融機関にとっても中小会計要領に準拠した決算書であれば、行内での財務諸表の精査検討も必要以上になくなり安心して融資決定が出来る決算書となります。また、中小会計要領に拠った処理をしていると、金利が低くなる取り組みもされています。

●中小会計要領各論（全14項目のうち一部）について

中小企業の会計処理慣行を重視した内容となっており、今までの会計処理と比べて難しい点はありません。

1	収益、費用の基本的な会計処理	毎月、発生主義で計上する。現金主義では適正な期間損益計算はできません。
2	資産、負債の基本的な会計処理	税務上の取得原価で計上する。
3	貸倒引当金	売掛金・貸付金等に対して、毎期貸倒引当金を計上する。
4	有価証券	原則として、取得原価で計上する。
5	棚卸資産	原則として、取得原価で適正に計上する。
6	固定資産	税務上の取得原価で計上し、毎期適正に減価償却費を計上する。
7	その他	すべての取引につき正規の簿記の原則に従って記帳を行い、適時に、整然かつ明瞭に、正確かつ網羅的に会計帳簿を作成する。複式簿記によってその都度、記帳される必要があります。

●注記（重要）

中小会計要領に拠って計算書類を作成した場合には、その旨を決算書の注記表に以下のように記載してください。

[1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。]

【今回の解説は…】

横山泰税理士事務所
税理士 **横山 泰氏**



●中小会計要領で自社の経営力を強化できる

中小会計要領は、中小企業が計算書類作成の負担を軽減できるだけでなく、金融機関に対する信用力向上、取引先との良好な関係構築を図ることができます。また、経営者自身が財務・会計について理解を深め、自社課題の発見・課題克服に取り組むことで自社の経営力を強化することにもつながります。

ぜひ中小会計要領を活用してください。

“明石ものづくり企業紹介サイト”登録企業のご紹介

“明石ものづくり企業紹介サイト”は、明石市域内を中心に地域産業を牽引する企業の情報を広く市内外に発信し、販路開拓や業務提携等にお役立ていただくために開設しています。

— 今回のご紹介は「株式会社三徳」様です —

社名：株式会社 三徳

本社所在地：〒658-0013 神戸市東灘区深江北町4丁目14番34号 TEL：078 (431) 0531 FAX：078 (431) 6522

明石工場所在地：〒674-0093 明石市二見町南二見1番28号 TEL：078 (944) 3109 FAX：078 (941) 1041

創業：1949年8月 資本金：15億円 従業員：260人

事業内容

レア・アース金属、合金、無機材料の製造・販売を手掛ける。原料から高純度化合物、各種金属、合金までを一貫生産するレア・アースの総合メーカー。国内に4工場及び中国に2工場を持つ。当社は、1940年代からレア・アースの研究、工業化に着手、通産省（現経済産業省）をはじめ関係省庁からの研究開発補助金を受け、レア・アースの分離精製や金属精錬を中心に革新的な技術を開発、レア・アースの工業生産を長年に渡り手掛け、最先端技術産業のニーズにレア・アースのトップメーカーとしてお応えしてきました。



明石工場

また最近では当社独自のレア・アース製造技術を用いレア・アース以外の新素材（リチウム電池、リチウムイオン電池用材料や超軽量合金等）にも事業展開を致しております。

経営理念

社名の由来になっている「国の為 はた人の為 わが為と おもい立ちけり 神よまもらせ」と初代創設者が詠んだ歌の三つの徳（三徳）の精神を受け継ぎ、技術力に注力し、社会貢献を目標にレア・アース製品を中心とした物作りを今後も継続してまいります。

あわせて「技術の三徳」を標榜しております。省エネルギー、将来の水素社会に、新旧技術をもって積極的に関わっていく所存です。

セールスポイント・ものづくりに対するこだわり

当社は1950年代半ばから、熔融塩電解の研究をスタートし、72年世界で初めて酸化物によるミッシュメタルの電解法を工業的に開始、以来 日本で唯一熔融塩電解法にて高品位のレア・アースを製造しています。熔融塩電解法によって製造されたレア・アース金属は、希土類永久磁石用合金原料、ニッケル水素電池用原料として利用されています。

省エネ、地球環境保全に貢献できる資源としてレア・アースは注目されています。自動車の排ガス触媒やハニカム構造物に、安全でクリーンなニッケル水素電池に、またレア・アースを用いたサマリウムコバルト磁石やネオジム鉄ボロン磁石はその強力な磁力によって各種モーターの小型化を実現、電気消費量を抑制する事で省エネルギーに貢献しています。

今後の事業展開

レア・アースの限りある資源を有効に活用するために、ユーザーとの間で当社の合金を加工する際に発生するスクラップを廃棄することなく回収し、有効な方法でレア・アースの市中廃棄材リサイクルを継続し、限りある資源の有効活用と地球環境保全に貢献します。

開発事項としては、モバイルの電子機器用の構造材としてのマグネリチウム合金の技術や、古くからある磁気ヒートポンプ技術の実用化にもレア・アース素材メーカーとして注力しております。また水素吸蔵特性を活かした電池以外の用途開発を行い、水素エネルギー分野開拓にて低炭素化社会への貢献を目指しています。

産業交流センター3F 情報ライブラリーの資料閲覧・貸出を終了します。

- ・貸出最終日：平成29年1月15日（日）まで ※借用図書等は平成29年1月29日（日）までに必ずご返却ください。
- ・閲覧最終日：平成29年1月29日（日）まで ※新聞は平成29年3月までご覧いただけます。
セミナー等開催時は入室いただけません。
情報ライブラリー出入口掲示のカレンダーをご覧ください。

平成30年4月に明石市が中核市に移行することに伴い、当産業交流センターが保健所に転用されることとなりました。つきましては、保健所の設置工事に向けた準備のため、情報ライブラリーにおけます図書等の貸出・閲覧は終了することになりました。

みなさまにはご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。